

2019年度 特別研究推進費実績報告書

2020年 4月 30日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 文学部・准教授

(氏名) 五月女 晴恵

2019年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	金戒光明寺所蔵「俵藤太絵巻」の原本について 一筑前国御用絵師・尾形守房模「藤原秀郷龍宮城図」を手掛かりとして一					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>2018年9月、金戒光明寺から御許可をいただいて、寄託先の京都国立博物館にて、共同研究者の筑紫女学園大学・小林知美先生とともに、金戒光明寺所蔵「俵藤太絵巻」の調査・撮影を実施した。</p> <p>その後、調査の際に撮影した金戒光明寺本の画像と、小林先生が以前に撮影された尾形守房模「藤原秀郷龍宮城図」の画像との比較検討を進めた。加えて、金戒光明寺本の調査の際に、同絵巻の箱内に、同本施入の由来が記された文書が納められていることに気付き、その内容が下野国（現・栃木県）の戦国武将がもたらしたという内容であったため、2019年3月に栃木県立博物館に赴き、同館学芸員の御助力を得て、同館所蔵の文書内に、ほぼ同内容の文書の明治時代の写しが存在することを確認した。</p> <p>そのような金戒光明寺本と尾形守房本との比較検討結果、さらには、文書の翻刻・内容考察結果を、2019年6月、門司出光美術館にて開催された第103回近世美術研究会において発表した。</p> <p>その口頭発表の際に、日本美術史学を御専門とされる方々からいただいた御助言を踏まえてさらに考察を進め、2019年9月に論文としてまとめて入稿した。同拙稿は、2020年6月に羽鳥書房から刊行予定の書籍に掲載されることとなっている。</p> <p>2019年9月には、「俵藤太絵巻」原本の図様が引用されている可能性が考えられる国立歴史民俗博物館所蔵「土蜘蛛草子絵巻」の調査・撮影を、共同研究者の小林先生とともに実施した。</p> <p>2020年3月には、拙稿「『土蜘蛛草紙絵巻』の描き手と制作時期について一聖衆来迎寺所蔵『六道絵』との近似性に着目しながら一」を報告書（冊子）として刊行した。同報告書には調査写真や国立博物館から御提供いただいた高解像度の写真を含む全124図のカラー図版を掲載した。</p>					
	お	使用内訳（単位：円）				
交付決定額	481,199	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
支出額	481,059	0	15,477	0	300,962	164,620
執行残額	140					
共同研究者	所属・職名		氏名		役割分担等	
	筑紫女学園大学・准教授		小林知美		絵巻の調査・撮影の補助	